



宇宙から見る地球家族

石原艶子

○目を高く上げ、誰が天の万象を創造したかを見よ、それらを数えて引き出された方、それぞれの名を呼ばれる方の力の強さ、激しい勢いから逃れうるものはない。(旧約聖書 イザヤ 40:26)

◎政治家は歴史によって裁かれる。

◎思考にスイッチを入れよう。人の痛みをわが痛みとして感じる時にスイッチは入るのだ。

☆宇宙から地球を見る視点

月桃通信 30号で安和港での抗議行動から生れた即興の歌のことを書きました。その歌を私はいつも口ずさんでいます。

♪海は泣いている～海は泣いている～海は泣いている～山も泣いている～山も泣いている～山も泣いている～サンゴも泣いている、海ガメも泣いている、ジュゴンもういない。宝の海、命の海、辺野古の海は母の海、母の涙が満ちている、NO WAR NO WAR 命どう宝 そして今、視点を沖縄から宇宙へと転じてみました。宇宙から地球を見ると、戦争が起きていて、地球は泣いているという歌になりました。

この地球は多様性に満ち溢れ、さまざまな民族、文化、言語、何と豊かで輝いていることでしょう。地球家族の素晴らしさは神の創造の業そのものです。しかし本来家族である人類なのに戦い、憎み合い、殺し合いをしています。国と国とは覇権を競い、強国は弱国を搾取し、自国の繁栄のために犠牲にしても平気でいます。際限のない経済成長、際限のない科学技術の開発、際限のない武器開発、そして際限のない自然破壊。地球は泣きながら叫んでいます。もうこれ以上は耐えられないよ。人間達よ地球を助けてくれよ。海の酸性化も進み、魚たちも苦しんでいるよ。このまま人類の欲望が際限なく増大したなら、大地は砂漠となり、命を育ててくれた地球は死んでしまうでしょう。そして人もまた生きることは出来ません。今必要なことは地球の声を聞くこと、目先だけを見ていた目を高く上げて宇宙から地球を見る視点を持つことです。そしたら新しい価値観、世界観、人生観が生れることでしょう。そして最強の核兵器を持つことがいかに空しく馬鹿げたことかがはっきりと見えてくるでしょう。

昔の詩人は歌っています(旧約聖書 詩篇)

○人の生涯は野の花のよう、野の花のように咲く、風がその上を吹けば消えうせ、生えていた所を知る者もなくなる。○あなたは人を塵に返し、「人の子よ帰れ」と仰せになります。千年といえども御目には昨日が今日と移る夜の一時に過ぎません。悠久の時の流れの中のほんの一時を地球上に生かされて塵になって大地に帰る私たちの命は、先の世代へとつなぐ命として今ここに生かされています。破壊することをやめて地球と共に泣きつつ互に平和をつくる人類として地球家族となるために生きていきましょう。だから今すぐにロシアとウクライナの戦争を止めなくてはなりません。指導者(権力者)の心から悪が取り除かれて、小さな愛が生まれますように。

☆SOSの声 SOSの声が聞こえます。早く早く助けに来て!!と。やがてその声は消えました。誰も行



イラスト：大城旋律(孫)

かなかった、間に合わなかった、**違う!!** SOSは届いていなかった。誰も聞いていなかった。悲しみ、孤独、絶望、死が待っている。SOSは今日も日本中に響き渡っています。格差社会のひずみの中で疎外された若者達が死にたいと呻いています。SOSは必死で生きようとあがいている命たちの声、人と人とは共にあってこそ人である。思考にスイッチを入れよう。SOSが聞こえる人になるように。

○アベ政治を許さない

コロナ禍以前の時、辺野古ゲート前座り込みの現場には「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げた人達が多数参加されていました。安倍元総理が選挙応援演説中に銃撃され亡くなられるという事件後の今、私達はアベ政治の何を許さなかったのかを考えてみたいと思います。安倍長期政権時、今は亡き敬愛する牧師さん（戦争体験者）は「アベが日本をメチャメチャにってしまった」と事あるごとに言われ、怒り、嘆いておられました。そのお声が今も私の耳元で聞こえています。その第一は戦後日本が大切に守ってきた平和憲法を骨ぬきにして戦争出来る国へと、シールズをはじめ国民的反对運動を封殺して強行採決で集团的自衛権を法制化したことです。また国民の知る権利を侵す特定秘密保護法、対象を大幅に拡大した通信傍受法、実行前の恐れをもって処罰できる共謀罪法を成立させました。そして今、基地周辺住民の調査を可能にする土地規制法が今年中に全国施行されます。どれも自由な言論活動を規制して国策に反する異論は排除しようとする、民主主義に逆行した戦前回帰の動きです。沖縄に対しては辺野古新基地建設を強行し、「臨時立ち入り制限区域」を閣議決定して反对運動を押さえ込みました。県民投票の結果などは完全無視、一度として沖縄と向き合わず、日米軍事同盟をすべてに優先させ、沖縄差別・沖縄処分を強行しました。故翁長知事は安倍強権政治に苦しめられ命を縮められました。故翁長知事の、オール沖縄ウチナーのアイデンティティーをもったの訴えが届くことはありませんでした。権力がアベに集中した村度政治は腐敗し民主主義も立憲主義も失せ、辺野古基地裁判闘争もすべてアベ政権の思うままでした。南西諸島への自衛隊配備、ミサイル基地建設、軍事力拡大強化はアベ政治の負の遺産として、今後沖縄を苦しめ続けるでしょう。復帰 50 年を決して喜んで祝えない沖縄、それは安倍・日本政府が沖縄に対して行った数々の軍事植民地化政策です。140 年前の強圧的な琉球併合から始った歴史は今再び繰り返されているのです。沖縄が再び戦場となることはありませんように。沖縄の青い空をつんざく戦闘機の爆音を聞きながら祈るばかりです。

○アベ政治が行ったこと ——森友加計桜を見る会など民主主義、立憲主義を破壊、公文書改ざんまでも命じ自殺者を出しました。国会軽視、うその答弁は平気、権力を傘に内閣法制局長官を自分にとって都合の良い人物に代えさせました。学術会議任命拒否問題にも係りました。慰安婦問題などをはじめとする歴史修正主義は自由な表現活動を阻害してきました。経済においては「アベノミクス三本の矢」と勇ましい旗振りしたものの何の成果もなく、格差社会の拡大、企業の内部留保を積み上げ経済成長はストップ。日銀の黒田総裁と組んでの金融緩和政策は着地点を見い出せず、先行き不透明で国民の不安を高めています。円安と相まってこの先日本はどこに向うのか、世界の中で最も危ない国なのに自尊心だけは強く、韓国に対する高ぶりの姿勢は恥すべき姿です。外交は華やかに演出、トランプさんともプーチンさんとも親密な関係とか。然し、プーチンさんにウクライナ侵攻をやめさせることも出来ず何ひとつ成果なし。アベ長期政権は日本にとって不幸でした。格差社会は深刻化し少子化は進みました。然しアベ政治を支持してきたのは他ならぬ国民です。愚かな国民は不幸な政治を生み出します。扇情的な指導者（アベのような人）を選んでではありません。マスコミは野党的であり国民の立場で政府を見張ってほしいと願います。然し今のマスコミは権力者におもね、便乗し、政府に利用されています。国民はマスコミに支配されてはいけません。憲法改正の国民投

票となった時に、国民一人一人の責任は重大です。

☆アベ元総理国葬に反対します。

岸田首相は何故こんなに早く国葬を決めたのか、背後にどんな策略があるのか、政治利用される国葬を私たちはしっかり見張り、政治の策略にはまっぴりはいけません。国葬は吉田茂に次ぐ二人目です。吉田茂は日米安保の下アメリカに従属する日本を作った人です。安倍晋三は日米同盟を軍事同盟として強化し、アメリカと一体となって戦争出来る国へと、天皇を中心とした軍事国家へと回帰するために道を開いた政治家です。この二人を国葬とするこの国の姿が、はっきり何を狙っているか見えてきます。花束を持って列を作って追悼する人々、アベ賛美の言葉を発する多くの国民、感傷的になり易く同調力の強い国民性は思考をやめて、過去の戦争を忘れ、軍事大国への道を進むのか、国民一人一人が今、問われているのです。

☆安倍元総理銃撃殺傷事件について

犯人が世界平和統一家族連合（旧統一教会）の信者の子供であり、教会への恨みから犯行に及んだことが報じられました。旧統一教会がこのような形でクローズアップされたことに驚きつつも世の人々が改めて旧統一教会のことを知り考える機会ともなったことは良かったと思います。今の日本社会は若者達が希望を持たず、将来の人生設計も出来ない現実があります。疎外されたら浮び上れない社会の歪みは底流をなし深刻化しています。社会への恨みを抱き爆発寸前のエネルギーが危険を増大させ、無差別殺人事件が起きています。2019年の京都アニメーション放火事件、2021年には大阪北新地のビル放火殺人事件など、これらは氷山の一角にすぎず、広く社会への憎しみ恨み、敵意が底流を成しているのです。今回の事件も根っこは同じ底流だと思っています。かつて優秀で真面目な若者達がオウム真理教に入信して社会への破壊活動により多くの若者達が処刑されました。カルト宗教、マインドコントロールの恐ろしさに身が震えます。その罪深さは筆舌に尽し難くあります。犯人山上徹也の母親もまたカルト宗教旧統一教会のマインドコントロールによって精神と人間性を破壊された被害者でした。そして家族に対しては加害者となりました。旧統一教会の二世達の苦難は現在も進行中であり、犯人山上徹也に代表される苦悩をさまざまな形で今も背負い続けていることに私たちは目と心を注がなくてはなりません。千葉の袖ヶ浦市にエクレシア会があります。この会の代表である和賀眞也牧師は統一教会から若者達を救出するために生涯をかけて闘われ、現在も活動中です。救出がどれほど困難をきわめるかは一件一件の救出劇ドキュメンタリーが生々しく伝えています。然し、和賀先生が命がけで取り組まれても救出された人は全体の数%に過ぎません。それほどマインドコントロールされた思考回路を変えることは困難なのです。犯人の母親がもしも統一教会を脱会して家族を大切にしていたら、この事件は起きなかった事を思うと一人の人間の生き方が決定的に重大であることが分ります。私達はだまされる人になってはいけません。だます人とだまされる人がいて戦争が起き、様々な事件が起き、人類の不幸が生じます。アベ政治にだまされて敗けてしまった故に日本社会はメチャメチャになりました。私たちは今、この事実と向き合なくてはなりません。権力者によるマインドコントロールを絶対に許してはなりません。アベ元総理の祖父岸信介は統一教会を認め政治利用した人です。安倍晋三もまた統一教会を認めイベントでスピーチをしていました。犯人の銃弾がアベ元総理に向ったことは決して誤解、思い込みではなくそれなりの必然性があったのだと思います。岸田政権は政界と旧統一教会との関係を国民の前に明らかにすべきです。私はアベさんには生きて生きぬいて御自分の成したことを歴史の中で検証し、国民と向き合っただけでよかったと思います。まだ解決しない問題も抱えていたのに残念でなりません。死によってすべてを不問に帰し、死者を美化賛美するならまた同じ歴史が繰り返されるでしょう。

《沖繩の今》

○参議院選挙は僅差でオール沖繩の伊波洋一さんが当選しましたが、反対陣営の票の合計を見ると完全な敗北でした。9月の知事選の厳しさを予感しています。

○PFOS（有機フッ素化合物）公害の実態把握のため、住民の血液検査が住民のカンパを資金として各地域の希望者に実施されました。京都大学の協力による結果は八月以降に。

○沖繩戦戦没者の遺骨を含む本島南部の土砂が辺野古新基地の埋め立てに使われようとしています。これは人道問題です。政治の世界に人道問題は存在しないかのようです。

○基地からの被害は、実弾訓練中実弾が民家の庭や窓に被弾。

○米兵による婦女暴行事件は、氷山の一角として後を絶ちません。「米軍は良き隣人」になるための教育を受けていると言いますが、殺人者となる教育と訓練を受けている軍隊とは矛盾、無理あります。

○嘉手納基地内の住宅に接近した場所に新格納庫建設計画、基地被害の増大が予想、町議会反対決議。住民軽視に怒り。

○慰霊の日、平和の礎に刻銘された一人一人の名前を読み上げる集いが実施されました。朝鮮人刻銘者は朝鮮名で読み上げられました。強制連行され遠い沖繩で亡くなられた一人一人を決して忘れない思いで読まれた方々に感謝します。

☆恐怖 ——アメリカの核の傘に始まり、アメリカが守ってくれる保証はないと自国での核保有をと発言する政治家たちあり。日本は核保有国になるのか、何故核兵器禁止条約会議にオブザーバー参加もしなかったのですか。世界で唯一の被爆国日本は泣いています。

◎防衛省自衛隊は2021年7月13日今年度版の「防衛白書」を公表し、8月16日には子ども向けに「はじめの防衛白書」を公表しました。副教材として活用させる可能性があります。内容の一例として。国の防衛は何故必要なの？自衛隊にしかできない任務は・・・「日本を防衛すること」「国の独立を守らなければなりません」日米同盟では日米の強い結びつきで日本を守ってきましたと。私たちは子供たちに国防教育をさせないように注意して見張っていかなくてはなりません。

◎教科書から消える戦争文学・・・あるジャーナリストが戦争体験の歴史化が必要であると。戦争文学もそのひとつだと私は思います。歴史として体験も文学も残していくことによって次の世代に継承され、そのことが歴史検証への学びへとつながり、同じ過ちを繰り返さないことにつながると思います。時の経過と世界情勢の中で知らない内に大切なものが失われていくことに対して私たちはもっと注意深く見張らなくてはなりません。知らない内に政府の思うままに変えられていこうとしています。手遅れにならない内に。

辺野古基金のために

つながるかうつぐみの会（大野悦子）

*布マスク*大・小の手提げ袋*ティッシュケースカバー*鍋つかみ*コースターなど

あみの会（山田博子）作品準備中

どうぞ御注文下さい。 ※リサイクル着物、リサイクル糸求めています。 両窓口：石原艶子

《連絡先》〒904-1115 うるま市石川伊波 1180-5 石原艶子

携帯：090-4471-1942 Email：yuuwanoie@tg7.so-net.ne.jp

《振込先》ゆうちょ銀行 記号：12260 番号：12650271 イシハラツヤコ

